



TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION

TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION

日本で初めての
ウイスキーとスピリッツの品評会

主催：東京ウイスキー&スピリッツ コンペティション (TWSC) 実行委員会
企画・運営・PR：ウイスキー文化研究所、ウイスキーガロア



TOKYO
WHISKY & SPIRITS
COMPETITION

繊細な日本人の味覚と
日本のウイスキー愛好家、
スピリッツ愛好家の深い知識、情熱をもって



世界のウイスキーおよびスピリッツを品評し
高品質なウイスキーとスピリッツを
国内外に広く知っていただくこと

ご挨拶

東京ウイスキー＆スピリッツコンペティション(TWSC)は、日本で初めて開催されるウイスキーとスピリッツの品評会です。

近年ウイスキーやスピリッツはかつてないほど注目を集めています。特に2016年から17年は「日本のクラフト蒸留所元年」といわれるほど、全国に蒸留所が相次いで誕生しました。

それは日本に限ったことではなく、本場スコットランドやアイルランド、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、そして台湾、インドとアジア各国にも広がっています。

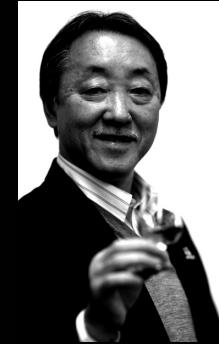
日本は世界中のウイスキーやスピリッツが集まり、また自国でも高品質なウイスキー、スピリッツを造っています。それらはイギリスやアメリカで開催されている酒類の品評会で数々の賞を受賞し、世界でも「ジャパニーズウイスキー」「ジャパニーズスピリッツ」はカテゴリーのひとつとして認められています。

振りかえれば、日本の本格ウイスキー第1号(サントリー白札)が発売された1929年、「醒めよ人！ 船来盲信の時代は去れり…」と寿屋(現サントリー)は高らかに廣告に謳いました。それから90年。欧米の品評会と異なり、日本人の味覚と知識、深い情熱をもって世界のウイスキー、スピリッツを評価したらどうなるのか。そのために日本でコンペを開いてみたいというのが、私の長年の夢でした。

ぜひ、この機会に、ご協力いただければと願っています。

2018年8月
TWSC実行委員長、ウイスキー文化研究所代表

土屋 守



PROFILE

1954年新潟県佐渡生まれ。学習院大学文学部卒。大学卒業後、フォトジャーナリストとして足かけ6年ほどインド、チベットに通う。1982～87年新潮社「フォーカス」編集部勤務。1987年渡英。1988年から4年間、日本語月刊情報誌「ジャーニー」編集長を務める。取材で行ったスコットランドで初めてスコッチのシングルモルトと出会い、スコッチにのめり込む。

1993年に帰國後は5年間の英国生活、英國取材の経験を生かし、ライフスタイルを紹介した著書、エッセイ等を多数発表。1998年ハイランド・ディスティラーズ社より「世界のウイスキーライター5人」の一人として選ばれる。日本唯一のウイスキー専門誌『Whisky Galore』の編集長を務めるほか、2014年9月～2015年3月に放送されたNHK朝の連続テレビ小説「マッサン」ではウイスキー考証として監修を務めた。

主な著書に「イギリス・カントリー四季物語」「スコットランド旅の物語」「竹鶴政孝とウイスキー」(東京書籍)、「シングルモルトウイスキー大全」「ブレンデッドウイスキー大全」(小学館)、「スコッチ三昧」「ウイスキー通」(新潮選書)、「伝説と呼ばれる至高のウイスキー101」(WAVE出版)、「ウイスキー完全バイブル」(ナツメ社)などがある。



TOKYO
WHISKY & SPIRITS
COMPETITION

メガシティTOKYOで開催される
ウイスキー＆スピリッツコンペティション

開催概要

審査日時

2019年3月11日(月) 13:00～17:00
12日(火) 10:00～19:00

会場

EBiS 303 イベントホール

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-8 エビススバルビル3階(恵比寿駅徒歩4分)

申請期間

出品アイテム申請期間 2018年10月1日(月)～12月12日(水)

出品アイテム提出期間 2018年12月3日(月)～2019年1月31日(木)

結果発表

2019年4月(予定)

最優秀賞・金賞・銀賞・銅賞、その他を発表

授賞式

2019年5月下旬(予定)



会場：EBiS 303 イベントホール

世界中のウイスキー＆スピリッツ
86カテゴリーを審査

出 口 概 要

出 品 者 対 象

国内外のウイスキーおよびスピリッツ生産者、輸入会社

出 品 料

1～5アイテム：1アイテム2万5,000円(税抜)

6～10アイテム：5%引き

11～20アイテム：10%引き

提 出 ボトル 数

1アイテムにつき700mlまたは750mlで2本

500mlの場合は3本／200mlの場合は6本

出 品 申 込 方 法

公式HPより専用のエクセルデータをダウンロードしていただき、

出品リストをメールでご提出いただきます。

データ確認後、ご入金の確認をもって出品手続き完了です。

詳細については、別途「出品の手引き」を

お取り寄せの上、ご確認ください。





TOKYO
WHISKY & SPIRITS
COMPETITION

審査概要

2日間にわたり180人の審査員がブラインド

2日間にわたり、のべ180人(予定)の審査員が800~1000種類のウイスキーおよびスピリッツを審査します。審査員は全国の名バーテンダー、マスター・オブ・ウイスキー、ウイスキー講師、スピリッツの輸入・販売・製造業関係者、業界誌記者などから選任します。

審査員は6名1テーブルに分かれ、1名あたり4時間のセッションで約32種類のウイスキーとスピリッツを審査します。各テーブルにはチェアマンと呼ばれるリーダーを1名選任し、進行の確認、取りまとめ、集計スタッフとの連携作業を行い、テイスティングが円滑に進むよう進行をつかさどります。

審査スケジュール

3/11 (月)	セッション1 13時～17時	審議1 (13～14時・フライト1～10) 審議2 (14～15時・フライト11～20) 審議3 (15～16時・フライト21～30) 審議4 (16～17時・フライト31～40)
3/12 (火)	セッション2 10時～14時	審議5 (10～11時・フライト41～50) 審議6 (11～12時・フライト51～60) 審議7 (12～13時・フライト61～70) 審議8 (13～14時・フライト71～80)
	セッション3 15時～19時	審議9 (15～16時・フライト81～90) 審議10 (16～17時・フライト91～100) 審議11 (17～18時・フライト101～110) 審議12 (18～19時・フライト111～120)

審議時間：各1時間(テイスティング40分間、集計20分間)

※審査員はセッション2とセッション3の連続の審査は原則不可です

審議の審査手順

各テーブル6名で審査

40分間で6～8種類の
ブラインドテイスティングを行い
ジャッジペーパー(審査表)に点数を記入

20分間で集計し、次のフライトの準備

上記を4回繰り返し審査していただきます。
1人の審査員は約32種類の
ブラインドテイスティングを行います。

テイスティングで真剣勝負

採点方法

アロマ30点、フレーバー40点、フィニッシュ・総合30点、合計100点満点で点数を付けていきます。6名の審査員の点数のうち、最高点は2番目に高い点数に揃え、同様に最低点も2番目に低い点数に揃えます。その上で6人全員の点数を合計し、6で割って平均点を算出します。

受賞について

2日間のコンペティションに参加した審査員の採点をもとに審議し、金賞・銀賞・銅賞を決定します。コンペティション終了後、審査員を代表して一部のチアマンに再度お集まりいただき、高得点のアイテムの中からシングルモルト部門、ブレンデッド部門など、各部門の優秀賞を審議し、決定いたします。



審査員

バーオーナー、バーテンダー、酒類製造業(メーカー)、酒類販売業(酒販店)、酒類輸入業(インポーター)、
「ウイスキーコニサー」資格保有者(マスター・オブ・ウイスキーとウイスキーレクチャラー)、「ウイスキーガロア」
ティスター、食品関係の報道関係者、食品の協会関係者など、約180人(予定)

実行委員会

実行委員長	土屋 守	ウイスキー評論家／ウイスキー文化研究所代表／ 雑誌「ウイスキーガロア」編集長／作家
実行委員会	中居 靖行	ミニチュアボトルコレクター／ウイスキー文化研究所 代表世話人／ 「ウイスキーコニサー」資格認定期制・審査員
	渋谷 寛	弁護士・司法書士／ウイスキー文化研究所代表世話人／ NPO日本スコットランド協会 監事／英國市場協議会 会員
	牧 貴子	株式会社BAISOKU 代表取締役／ ウイスキー文化研究所 代表世話人
	早川 健	ウイスキー文化研究所 特別技術顧問／ 富士御殿場蒸溜所元ブレンド最高責任者
	林 生馬	日本テキーラ協会会長／グラン・マエストロ・デ・テキーラ／ ブリュッセル国際酒類コンクール審査員
	海老沢 忍	株SCREW 代表取締役社長／日本ラム協会会長／ 吉祥寺SCREW DRIVER・渋谷ARIAPITA RUM&PUNCH オーナーバーテンダー
	友田 晶子	(一社)SAKE 女の会代表理事／シニアソムリエ／きき酒師／ フェミニーリーズ・世界ワインコンクール名誉会長／ 「ウイスキーガロア」コラム担当
	梅内 林太郎	葉巻愛好家／(株)トラベルデータ代表取締役／ Travelfusion Japan(株)代表取締役／ 「ウイスキーガロア」コラム担当
	白根 全	カーニバル評論家／ラテン系写真家／ 「ウイスキーガロア」コラム担当
	能勢 剛	編集者／(株)コンセプトブルー代表／ 元「日経トレンド」「日経おとなのOFF」編集長
	原田 邦博	バー愛好家(自由業)／ウイスキー文化研究所会員

(2018年8月現在)

後援

一般社団法人 日本のSAKEとWINEを愛する女性の会(SAKE女の会)／日本ジン協会／

日本テキーラ協会／日本ラム協会／スコットランド国際開発庁・日本事務所／

アメリカ合衆国大使館 農産物貿易事務所(ATO)／アイルランド大使館／

英国 ウェールズ政府 欧州・外務 日本代表事務所／カナダ大使館

(2018年8月現在)

公式HP

www.tokyowhiskyspiritscompetition.jp

お問い合わせ

ウイスキー文化研究所

〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-23-6 長谷部第10ビル 2階

TEL. 03-6277-4103 FAX. 03-3445-6229 MAIL. twsc@scotchclub.org



TOKYO
WHISKY & SPIRITS
COMPETITION

